

Title	PachiRug : 父親の片手間操作で子供が全身を使って遊べるラグデザイン
Sub Title	PachiRug : A design of rug child completely play games with, which operated by father
Author	山本, 龍(Yamamoto, Ryu) 奥出, 直人(Okude, Naohito)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>PachiRugは、お父さんがタッチパネルディスプレイを使って指先を動かすだけで、ラグからサウンドやライトが出て子供が全身を使って遊べるラグである。これはダイニングルームにいるお父さんとリビングルームにいる子供がコミュニケーションを取りながら遊ぶためのものである。子供を持つ家庭において、仕事から帰ってきたお父さんは子供と遊んであげたい気持ちはあっても、連日の仕事疲れでなかなか遊んであげる事ができない。そこでPachiRugは、お父さんがディスプレイ上で選択した位置を子供が全身を使ってラグの上で探すゲームを提供する。お父さんがダイニングルームから遠隔的に選んだ位置を、リビングルームに敷いてあるラグの上で探す事で宝探しをしているような経験を与える。</p> <p>本論文では、PachiRug のConceptの提案及び設計を行い、プロトタイプを制作した。制作されたプロトタイプを用いてConceptのValidationを行い、遊びを通して親子コミュニケーションを実現する。</p>
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第198号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0198

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011 年度 修士論文

PachiRug

父親の片手間操作で子供が全身を使って遊べる
ラグデザイン

山本龍

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

山本龍

指導教員：

奥出 直人 教授 (主指導教員)

大川 恵子 教授 (副指導教員)

審査委員：

奥出 直人 教授 (主査)

大川 恵子 教授 (副査)

太田 直久 教授 (副査)

PachiRug

父親の片手間操作で子供が全身を使って遊べる ラグデザイン

内容梗概

PachiRug は、お父さんがタッチパネルディスプレイを使って指先を動かすだけで、ラグからサウンドやライトが出て子供が全身を使って遊べるラグである。これはダイニングルームにいるお父さんとリビングルームにいる子供がコミュニケーションを取りながら遊ぶためのものである。子供を持つ家庭において、仕事から帰ってきたお父さんは子供と遊んであげたい気持ちはあっても、連日の仕事疲れでなかなか遊んであげることができない。そこで PachiRug は、お父さんがディスプレイ上で選択した位置を子供が全身を使ってラグの上で探すゲームを提供する。お父さんがダイニングルームから遠隔的に選んだ位置を、リビングルームに敷いてあるラグの上で探す事で宝探しをしているような経験を与える。

本論文では、PachiRug の Concept の提案及び設計を行い、プロトタイプを制作した。制作されたプロトタイプを用いて Concept の Validation を行い、遊びを通して親子コミュニケーションを実現する。

キーワード

インタラクションデザイン, ラグ, コミュニケーション, ゲーム, 片手間

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

山本龍

PachiRug

A Design of Rug Child Completely Play Games With, Which Operated by Father

Abstract

PachiRug is a rug operated by father by using touch panel display outputs sound and light to play games with child. This is a kind of rug in order to build communication between father in the dining room and child in the living room. After being back home from work, father wants to play with his child very much. However, he is so tired that he has no time to share. Therefore, PachiRug provides a game on which child searches the points with all his strength, which selected by father on a display. It brings a fresh new experience that child hunts treasure of father on a rug.

In this paper, I make a proposal of the PachiRug concept, design it and make the prototype, by which validating the concept. PachiRug realizes the communication between parent and child by providing games.

Keywords:

Interaction Design, Rug, Communication, Game, Spare Time

Graduate School of Media Design, Keio University

Ryu Yamamoto